

MAKO MKII [ACS1] AMP + CAB SIMULATOR



ACS1は、ワールドクラスのアンプのサウンドとフィールを提供するアンプ&スピーカーキャビネットシミュレーターです。ルームサイズも自在に制御でき、Tone FactorとYork AudioのスピーカーキャビネットIRから好みのサウンドを選択できます。ACS1を使えば、ステージ、スタジオ、また自宅での練習などいずれであっても、幅広いオプションを利用できます。シンプルなコントロール、ステレオインとステレオアウト、オンボードプリセット、MIDIサポートにより、ACS1はギタリストの武器として計り知れないツールとなっています。



9 volt DC, Center Negative · 300mA min*

*Walrus Audioエフェクターの電源はアイソレーテッドパワーサプライの使用を推奨します。
デジチェーン式のパワーサプライは推奨しません。

AMP MODELS

Amp Knob - 左エンコーダーを押すと、ACS1に搭載された6種類のクラシックなアンプモデルが切り替わります。

オリジナル回路の詳細な物理モデリングベースのシミュレーションを使用して設計されており、カスケードトライオード/フィルタリングステージのそれぞれが忠実に再現され、偶数次ハーモニクスおよび微妙な非対称性/不一致に富んだ複雑な音色を豊かに生み出します。パワーアンプ演出では、低ゲインでのクラスA動作中に十分にダイナミックな暖かさとヘッドルームを維持するため高度にバイアスされており、感度の向上とクラスABサチュレーションのオーバードライブに移行して、バルブのブレイクアップを最大限にします。



Fullerton:クラシカルで明るくクリアなFender®DeluxeReverbからインスピレーションを得ています。
プレイヤーが長年にわたって愛するようになったヘッドルームの広い、鮮明でクリーンなトーン。



London:ハーモニックでリッチな真空管サウンドをもった1962年のMarshall®Bluesbreakerにインスパイアされました。サステイン豊かなリードトーン、ミッドを強調したコードプレイに最適です。



Dartford:1960年代のVox®AC30の伝説的なジャングリーなハイエンドトーンにインスパイアされました。ブリティッシュ・インヴェイジョンに象徴的な中域に厚みのあるトーン。ゲインを上げればパンチのあるオーバードライブサウンドが楽しめます。

AMP MODELS: HIGH GAIN

Red:独特で生々しくパンチの効いたPeavey® 5150にインスパイアされ、ヘヴィでアグレッシブなモダンメタルやハードロックサウンドを生み出します。パワフルで濃密、タイトな低域と、強力な中域、明るく鋭い高域が特徴です。

Citrus:暖かく、豊かで、複雑なハーモニーを織り成すOrange® Rockerverbにインスパイアされました。クリーミーな中域とパンチの効いた低域を備えたクラシックなブリティッシュゲインです。ハイゲイン設定時でも、トータルスペクトラム全体にわたって明瞭さと鮮明さを保ちます。

Tread:驚異的なゲインを備えた世界的に有名なMesa Boogie® Dual Rectifierにインスパイアされました。クラシックメタルからパンクまでのジャンルのギタリストに好まれる多用途性を備えたTreadは、他のミュージシャンと演奏中でも一際抜けが良いヘヴィで豊富なサチュレーションを提供します。

CABS

ACS1には12種類の異なるキャビネットが用意されており、CABノブを押して利用可能なオプションを切り替えるだけでアクセスできます。キャビネット1~6はFullerton、London、Dartfordのアンプモデルと組み合わせるためにTone Factorによって作成され、7~12はRed、Citrus、Treadのアンプモデルと組み合わせるためにYork Audioによって作成されておりますが、好みに合わせて自由に組み合わせる使用できます！



PHOTO COURTESY OF TONE FACTOR

最初の6つのカスタムIRは、Tone FactorのDavid Hislop氏とKenyon Reed氏によって設計されました。これらのIRは、Blue Alnicoを搭載した90年代のイギリス製AC30 6TB、Marshall JTM50 Tremolo Bluesbreaker 2x12 コンボとイギリス製 6402-cone G12M Greenbacks(Marshallキャビネットに付属する16Ωバージョンは、Voxキャビネットの8Ωバージョンよりも明るいです)、そしてオリジナルのJensen C12NAを搭載したVintage 1966 Fender Deluxe Reverbをベースにしています。tonefactor.coにアクセスして、より多くのマイクと配置オプションを備えた全てのIRパックを探索してみてください。

キャブ7~12は、York AudioのJustin York氏によって設計されました。これらのIRは、Celestion Vintage 30を搭載したMesa Oversize 4x12キャビネット、Greenback M25を搭載したKerry Wright 4x12キャビネット、Celestion G12スピーカーを搭載したMarshall 1960bv4x12をベースにしています。yorkaudio.coにアクセスして、より多くのマイクと配置オプションを備えた全てのIRパックを探索してみてください。

Cabs:

- 1: '66 Fender® Deluxe Replication / SM57
- 2: '66 Fender® Deluxe Replication / Royer 121
- 3: Marshall® JTM50 Bluesbreaker Replication / SM57
- 4: Marshall® JTM50 Bluesbreaker Replication / Royer 121
- 5: Vox® AC30 6TB Replication / SM57
- 6: Vox® AC30 6TB Replication / Royer 121
- 7: Mesa® Oversized 4x12 / SM57 + Royer 121
- 8: Mesa® Oversized 4x12 / SM58 + Beyerdynamic M160
- 9: Kerry Wright 4x12 / SM57 + Royer 121
- 10: Kerry Wright 4x12 / Sennheiser MD412 + Telefunken U47
- 11: Marshall® 1960bv 4x12 / SM58 + Beyerdynamic M160
- 12: Marshall® 1960bv 4x12 / Sennheiser MD421 + Beyerdynamic M160

CONTROLS



ADJUSTING PARAMETERS

全てのノブは、パラメータを調整すると画面にバーが表示されます。パラメータの値を上げるほど、バーがより濃く表示されます。左上の数字は保存されているプリセットの値です。右上の数字は、ノブが現在設定されている場所の値を示します。バーの下に表示されるドット(点)は、ノブを回す直前に使用された最後の値を示します。



Volume - VOLツマミでは、ペダルの全体的な出力レベルを調節します。また、ヘッドホン出力の音量も調節します。

Gain - GAINツマミでは、各モデル内のアンプの「回路」を介したゲインの量を調節します。ゲインとキャラクターの変化の関係は、アンプモデルごとに異なります。GAINツマミも実際のアンプと同じように全体のボリュームに影響を与えるため、ゲイン設定を低くした場合はVOLツマミを上げるといいでしょう。

Room - ROOMノブは、3種類の空間エミュレーションのいずれかを操作します。時計回りに回すことで、信号に空間感覚が追加されます。

Room Types:

Type 1: タイトなルームリバーブは、さまざまなサイズの部屋でアンプがマイクで接続されているような印象を与えることを目的としています。一番下まで下げると解除され、上げるとサウンドに空間感覚が追加されます。ディケイコントロールが備わっています。

Type 2: 大規模なライブサウンド空間の音響をシミュレートするホールリバーブエミュレーションで、ディケイコントロールが備わっています。

Type 3: チューブアンプのスプリングリバーブをシミュレートするスプリングリバーブエミュレーションで、ディケイコントロールが備わっています。



ルームタイプの変更方法:

1. グローバルサウンドメニューに入るためには、左および中央エンコーダーを同時に押します。
2. 左エンコーダーを時計回りに回して、「Room」まで下にスクロールします。
3. 中央エンコーダーを回して、任意のルームサウンドのタイプを選択します。
4. 右エンコーダーを使用してルームのディケイを変更します。

CONTROLS: EQ

Bass (左エンコーダー) - 「BASS」ノブは、選択したアンプ・モデルの低域トーン・スタックを形成します。ノブを上げると厚みのあるサウンドになり、下げると濁ったピックアップを抑制することができます。

Mid (中央エンコーダー) - 「MID」ノブは、選択したアンプ・モデルの中域のトーン・スタックを形成します。ノブの位置を正午の方向より上でパンチの効いた生の中域トーンを、12時より下でよりクラシックでスクープされたサウンドをお試しできます。

Treble (右エンコーダー) - 「TREBLE」ノブは、選択したアンプモデルのトーンスタックの高域セクションを形成します。ノブを上げると輝きが増し、下げると耳障りなピックアップを抑制することができます。

それぞれのノブのおすすめの開始点は12時の方向あたりが適切です。トーン・スタックはアンプモデルごとに異なり、象徴的なトーンをエミュレートするために丁寧に再現されています。



BOOST

Boost Switch - ブーストされたゲインは、未ブースト時のゲインの最小値から追加で最大+4dbのゲインまで変化します。ブーストされたボリュームコントロールは、全帯域にわたってスケーリングされた操作を提供し、各モード間での出力レベルを一致させることができます。

ブーストの量を設定するには、BOOSTスイッチを押します。LEDライトが点滅し、ブーストがオンになっていることを示します。GAINノブをゼロにすると、ブーストされていないレベルの設定と同じになります。VOLノブとGAINノブを使用してブーストのレベルをお好みに設定できます。必要に応じて、VOLノブを設定して音量を下げることにご注意ください。ブーストモード時では、VOLノブを12時に設定すると中間点になります。左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がります。ブースト量を決定した後、再度ブーストスイッチを押して設定を確認します。新しいブースト設定をプリセットに適用するには、BYPASSスイッチとBOOSTスイッチを押し続け、両方のLEDが点滅し新しい設定が保存されたことを確認します。

Preset/Boost LED - プリセットLEDは、選択したプリセットの色 (赤、緑、または青) に点灯します。ノブが回されると、このLEDが紫色に変わり、プリセットが変更されたことを示します。ノブが保存された位置を通過すると、LEDが現在選択されているプリセットの色に戻り、最後に保存された位置がわかります。これは、プリセットのパラメータを微調整したいのにノブが最後に保存された場所を思い出せない場合に役立ちます。



STEREO CONTROLS

ACS1は、各チャンネルで個別のアンプやIRを動作させる事が可能です。例えば、左側で Fullertonアンプを、右側でDartfordアンプを動作させ、両方のアンプに同じキャビネットを使用するか、またはそれらをミックスしてユニークなステレオサウンドを鳴らすかを選択できます。

左右のチャンネルを別々に設定するには:

中央エンコーダーを押します。L+Rのテキストが「L」に変わるのが確認できます。これは、左チャンネルから出力されるもののみをコントロールできることを意味します。EQ、アンプ、キャビネットを好みに合わせて設定してください。完了する場合は、中央エンコーダーを再度押し、右チャンネルの設定に移行します。「L」のテキストが「R」に変わるのが確認できます。右チャンネルのEQ、アンプ、キャビネットを好みに合わせて設定してください。出力されたサウンドが気に入ったら、設定を新しいプリセットに保存することを忘れずに!

注意:中央エンコーダーを再度押して「L&R」に戻ると、その時点で変更したパラメータは左右のチャンネルの両方に適用されます。コントロールに変更を加えると、そのパラメータが両方のチャンネル間で同期されます。アンプを選択すると、両側に適用されます。トーンスタックを調整すると、両側で一致します。

左右のチャンネルで独自のサウンドを作成する場合は、両側のVOLノブを使用して各アンプの全体的なレベルのバランスをとります。



PRESETS

ACS1には合計128のプリセットスロットがあります。各バンクの3種類のプリセットはBYPASSとBOOSTスイッチ同時押しで切り替えることができます。

128のプリセットはすべてMIDIプログラムチェンジメッセージを介してアクセスできます。詳しくはMIDIセクションを参照ください。

o プリセットバンクの呼び出し方法:

1. グローバルサウンドメニューに入るためには、左および中央エンコーダーを同時に押します。
2. 最初の列で「Preset」がハイライトされた状態で、中央エンコーダーを回してプリセットバンクを選択します。中央エンコーダーを押し、バンクを選択します。
3. 右エンコーダーを回して、そのバンク内のプリセットをスクロールします。右エンコーダーを押し、プリセット番号を選択します。
4. 左および中央エンコーダーを同時に押すとメニューを終了します。

o プリセットの保存方法:

1. BYPASSスイッチおよびBOOSTスイッチを同時に押して、新しいサウンドを保存したいバンクのプリセットカラー(赤・緑・青)までスクロールします。
2. ノブとスイッチを使用して、希望するモジュレーションサウンドを設定します。レートLEDが紫色に変わり、プリセットが変更されたことを示します。
3. 保存するには、プリセットLEDが点滅するまでBYPASSスイッチとBOOSTスイッチを長押しします。プリセットが保存され、LEDがプリセットの色に戻ります。

PRESET COPY/PASTE

任意のプリセットをコピーして、別のプリセットスロットに設定することができます。プリセットメニュー内で右エンコーダーを3秒間押し続けることで、コピー/ペーストメニューに入ります。次のオプションがあります。

COPY:

1. コピーしたい任意のプリセットまでスクロールし、右エンコーダーを押したままの状態ですべてのコピー/ペーストメニューを開きます。
2. Copyを選択します。
3. メニューがプリセットメニューに戻ります。

PASTE:

1. コピーしたい任意のプリセットまでスクロールし、右エンコーダーを押したままの状態ですべてのコピー/ペーストメニューを開きます。
2. Pasteまでスクロールします。コピーした任意のスロット番号が表示され、新しいスロットに置き換えられます。
3. Pasteを選択して選択します。メニューがプリセットメニューに戻ります。

OVERWRITE:

1. 現在のパラメータ値をプリセットに上書き保存します(これは、両方のストンプスイッチを押し続けてプリセットを保存するのと同様になります。)

SWAP:

1. 交換したいプリセットまでスクロールし、右エンコーダーを押したままの状態ですべてのコピー/ペーストメニューを開きます。
2. SWAPオプションまでスクロールし、右のエンコーダーを押し、SWAPを選択します。プリセットメニューに戻ります。
3. 交換したいプリセットスロットまでスクロールし、右エンコーダーを押したままの状態のまま、プリセット/スワップメニューに入ります。
4. SWAPオプションまでスクロールします。プリセットを交換するスロットの番号が表示されます。
5. 右エンコーダーを押し、確認します。メニューがプリセットメニューに戻ります。

BACK: 変更せずにプリセットメニューに戻ります。



GUITAR INPUTS AND OUTPUTS

ACSIは、複数の入出力に対応しています。True Bypass仕様。

- ・ Mono In / Mono Out
- ・ Mono In / Stereo Out
- ・ Stereo In / Stereo Out

Headphone Jack - ACSIは、静かな環境でも練習できるヘッドホン出力を備えています。ヘッドホンを接続し、音量つまみを調整するだけで、ヘッドホンの音量を上げ下げできます。

USB C Port - パソコンでwalrusaudio.ioにアクセスしてIRロードまたファームウェア更新を行います。

MIDI

ACSIは、標準のMIDIメッセージを介してコントロールできます。MIDIコントローラーをACSI MIDI「IN」に接続するだけです。ACSIはMIDI「THRU」も備えており、すべての受信MIDIメッセージが他のデバイスに送られます。ACSIの工場出荷時は、デフォルトでMIDIチャンネルが1に設定されています。

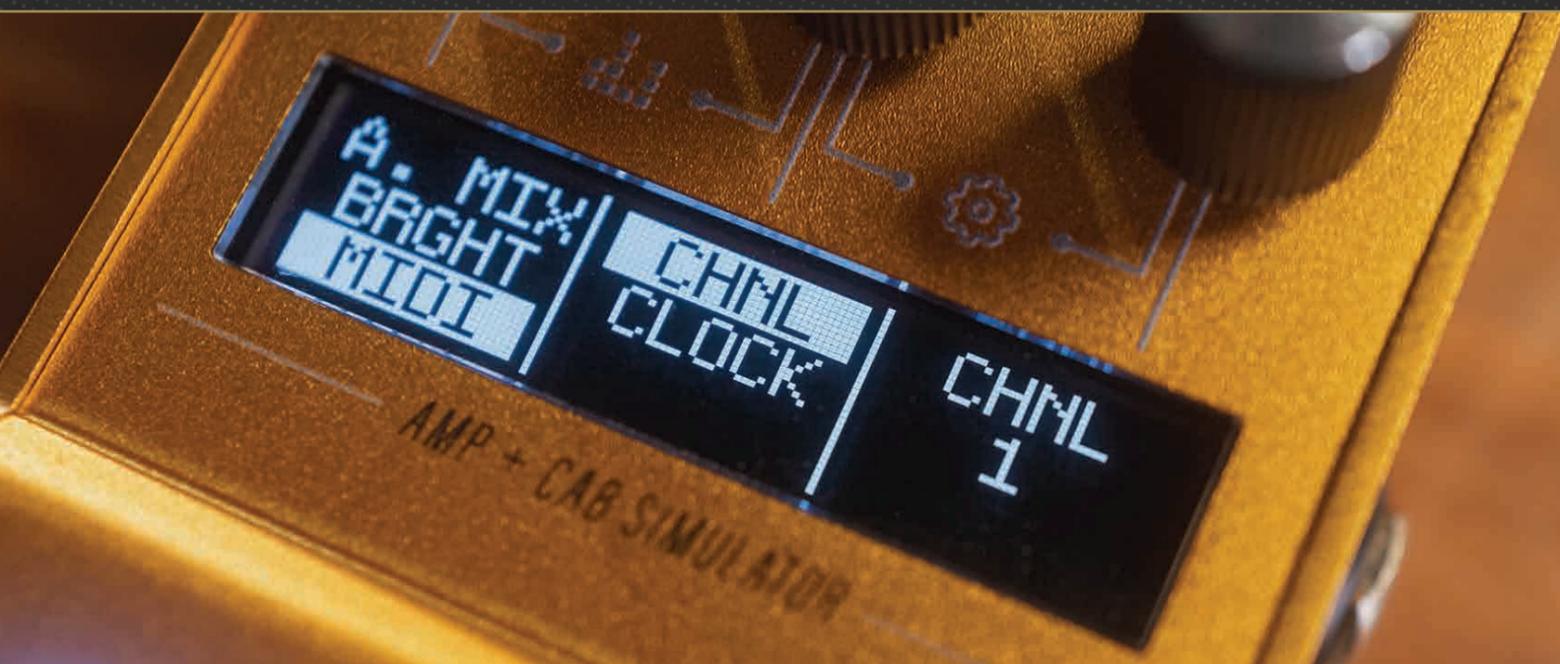


PRESET

Bank A (Red)
Bank A (Green)
Bank A (Blue)
Bank B (Red)
Bank B (Green)
Bank B (Blue)
Bank C (Red)
Bank C (Green)
Bank C (Blue)
Accessible via MIDI

MIDI PROGRAM CHANGE (PC)

0
1
2
3
4
5
6
7
8
0-127



MIDI

o **MIDI CC** – ACS1のほぼ全てのパラメータは、MIDIのCCメッセージでコントロールできます。下のリストは、全ての適用可能なMIDI CCナンバーと、関連付けられたパラメータとCCバリューが記載されています。

PARAMETER / MIDI CC # / VALUES / MIDI Range

PARAMETER	MIDI CC #	VALUES	MIDI Range
Bass Left	3	0.0 - 1.0	0 - 127
Bass Right	9	0.0 - 1.0	0 - 127
Mid Left	14	0.0 - 1.0	0 - 127
Mid Right	15	0.0 - 1.0	0 - 127
Treble Left	20	0.0 - 1.0	0 - 127
Treble Right	21	0.0 - 1.0	0 - 127
Vol Left	22	0.0 - 1.0	0 - 127
Vol Right	23	0.0 - 1.0	0 - 127
Gain Left	24	0.0 - 1.0	0 - 127
Gain Right	25	0.0 - 1.0	0 - 127
Room	N/A	0.0 - 1.0	0 - 127
Cab Left	26	0 - 11	0 - 11
Cab Right	27	0 - 11	0 - 11
Amp Left	28	0 - 5	0 - 5
Amp Right	29	0 - 5	0 - 5
Bypass	30	0 - 5	0 - 5
Boost Engage	31	0 1	0 127
Output Eq Low	N/A	0.0 - 1.0	0 - 127
Output Eq High	N/A	0.0 - 1.0	0 - 127
Ir Bypass	85	0 1	0 127
Amp Bypass	86	0 1	0 127
Gate Threshold	89	0.0 - 1.0	0 - 127
Gate Release	90	0.0 - 1.0	0 - 127
Room Select	102	0 - 2	0 - 2
Room Decay	103	0.0 - 1.0	0 - 127
Presence	104	0.0 - 1.0	0 - 127
Resonance	105	0.0 - 1.0	0 - 127



GLOBAL PREFERENCES

グローバル設定メニューにアクセスするためには、中央および右エンコーダーを同時に押します。各エンコーダーは、画面上下部にあるオプションの列を循環させます。

テキストの後ろにある白い実線のバーは、選択したテキストの行を示していることに注意してください。

右エンコーダーを押して、3列目の選択を確定させます。左および中央エンコーダーを再度押すと、ホーム画面に戻ります。

Bypass IR Block

外部IRローダーハードウェアやプラグイン等を使用する際にACS1のIRおよびアンプセクションを無効にします。

About

現在のファームウェアのバージョンを表示します。



GLOBAL PREFERENCES

Bright

スクリーンの明るさを調整できます。

MIDI

MIDIチャンネルを選択します。

GLOBAL SOUND PREFERENCES

中央および左エンコーダーを同時に押し、グローバルサウンドの設定メニューにアクセスします。各エンコーダーは、画面上のそのすぐ下にあるオプションの列を循環します。

テキストの後ろにある白い実線のバーは、選択したテキストの行を示していることに注意してください。

右エンコーダーを押して、3列目の選択を確定します。中央および左エンコーダーを再度押して、ホーム画面に戻ります。

Preset

使用したいバンクとプリセットスロットを手動で選択します。バンクを選択した後、プリセットを切り替えるにはBYPASSスイッチとBOOSTスイッチを同時に押します。各バンクには3つのプリセットの保存が可能です。MIDI経由では最大128個まで使用可能です。

Room

ルームの種類とサイズを変更します。

Out EQ

ACSIは出力にグローバルHPFおよびLPFがあり、ポストアンプおよびキャビネットで好みに合わせて高域と低域をトリミングできます。これらの2つのパラメータはプリセットごとに保存されます。

HPF = 20Hz - 200Hz

LPF = 20k Hz - 1k Hz

Gate

ノイズゲートを有効にし、信号からノイズを除去できます。

Threshold - ゲートが作用し始める値を設定します。

Release - ゲートが閉じるまでの速度を設定します。

Amp EQ

パワーアンプ後段のプレゼンスとレゾナンスを調整します。これらのパラメータはプリセットごとに保存されます。

Presence - 5kHz以上を+10dBブーストするハイシェルフフィルターです。パワーアンプEQ後段の中高域と高域をブーストできます。

Resonance - 90Hzを中心に+12dBブーストするピークフィルターです。パワーアンプEQ後段の低域をブーストしてよりヘヴィなサウンドを狙えます。



FACTORY RESET

以下の方法でペダルを工場出荷時にリセットできます。

1. BYPASSとBOOSTスイッチを押しながら電源を入れます。スクリーンに“Factory reset, hold both stomps 10 seconds.”と出たらそのまま10秒間スイッチを長押ししてください。
2. スクリーンに“Factory reset, now resetting, release both stomps.”と表示されます。
3. 両スイッチを離すとスクリーンに“Factory reset, now resetting, keep power on.”と表示されます。
4. スクリーンに“Updating preset storage.”と表示され、約45秒後にリセットが完了します。

注意:工場出荷リセットを行うとユーザーが作成したプリセットはすべて消去されます。



WALRUSAUDIO.IO

Walrusaudio.io は、ペダルのファームウェアを更新し、独自のキャビネットIRをロードするためのシンプルなインターフェースです。ファームウェア更新またIRのアップロードを行うにはUSB CケーブルでパソコンとACS1を接続してください(ブラウザはGoogle Chrome対応)。

独自のスピーカーIRをアップロードするには:

1. USBケーブルをACS1に接続し、ペダルの電源を入れます。
2. ACS1ペダルの画像をクリックします。
3. IR Managerをクリックします。
4. 変更するスロットを見つけて、[edit]をクリックします。
5. [Choose IR file]をクリックして、お持ちのIRをアップロードします。IRデータは24-bit 48kHz.wavであることを確認してください。



WalrusAudio.io

MAKO ACS1 DETAILS

MAKO ACS1
IR MANAGER

FRONT IR

A SLOT	TF 66 DR 1X12 JENSN C12NA 57 3	edit
B SLOT	TF MARSH BREAKER 2X12 GREEN 57 3	edit
C SLOT	TF AC 2X12 BLUE ALNICO 57 3	edit

BACK IR

A SLOT	TF 66 DR 1X12 JENSN C12NA 121 2	edit
B SLOT	TF MARSH BREAKER 2X12 GREEN 121 2	edit
C SLOT	TF AC 2X12 BLUE ALNICO 121 2	edit

The default IRs have been meticulously designed and tone matched by David Hislop and Kenyon Reed at Tone Elixir. Captured with vintage and era specific amps matching the ACS1's amp models. The front default IRs were captured with SM57s and the back IRs were captured with a Royer 121 ribbon mic.

Visit tonefactor.co to explore more IR packs with more microphones and placement options.

TECHNICAL INFO

Input Impedance: 1.1M Ohms

Output Impedance: 220 Ohms

Frequency Response: 20Hz To 20kHz

Inputs: 2, 1/4" unbalanced TS

Outputs: 2, 1/4" unbalanced TS

USB Type C: For firmware updates via walrusaudio.io

Power Requirement: Isolated 9VDC, center-negative, 300mA minimum

Size Including Knobs/Jacks:

Height: 2.48" / 63.15mm

Width: 2.9" / 74.33mm

Depth: 4.89" / 124.37mm

Weight: .8 lbs

